

「日立オープンミドルウェア認定資格制度」で 高度な技術とノウハウを体系的に習得。 お客さま満足度のさらなる向上をめざす

株式会社 メトロシステムズ ▶ <http://www.metro-systems.co.jp/>

専門性の高いデータベース技術を扱うスペシャリスト集団として、幅広いSI事業を展開している株式会社 メトロシステムズ(以下、メトロシステムズ)は、2010年より日立の統合システム運用管理「JP1」を適用したソリューション提供を担う「JP1ソリューション部」を新設しました。その技術者育成と高度な業務ノウハウ獲得の手段として活用されているのが「JP1認定資格制度」です。同社では「Cosminexus^{コスミンネクサス}認定資格制度」も活用しながら、付加価値の高いITシステムをトータルに提案・構築できる人材育成を加速させています。

Open middleware case study



株式会社 メトロシステムズ
アプリケーションソリューション事業部
事業部長
工藤 広宣氏

株式会社 メトロシステムズ
アプリケーションソリューション事業部
JP1ソリューション部 課長
西澤 茂浩氏

株式会社 メトロシステムズ
アプリケーションソリューション事業部
JP1ソリューション部 グループリーダー
永井 充氏

付加価値の高い提案を行う「JP1ソリューション部」を新設

1995年、データベースのスタンダードともいえるOracleの専門技術者を中心に設立されたメトロシステムズ。同社は得意分野であるデータベースソリューションを基軸としたシステム構築を展開する一方、日立のパートナー企業として、JP1を適用したシステム構築プロジェクトにも多数携わり、現在は「JP1テクニカルパートナー」に認定されています。

「その長年にわたる技術とノウハウの蓄積をベースに、JP1の導入コンサルティングから環境設計、構築、運用管理、保守にいたるトータルサービスの提供を目的として立ち上げたのが、JP1ソリューション部です」と語るのは、アプリケーションソリューション事業部 事業部長の工藤 広宣氏。同事業部はJP1ソリューション部と基盤部、開発部の3部で構成されており、それぞれの担当技術者たちが柔軟な連携を図ることで、お客さま企業の要望に合わせた業務システムのインフラ構築からアプリケーション設計開発、運用・保守までをワンストップで提供できる体制を整えています。

「2010年1月にスタートしたJP1ソリューション部は、特にJP1に関する高度なスキルと豊富な実務経験を持つ10名のメンバーで構成されています」と説明するのは、JP1ソリューション部 グループリーダーの永井 充氏。永井氏によれば、メンバーたちは部として独立する以前から、「JP1/AJS2^{※1}」「JP1/VERITAS/NetBackup」などを適用したマルチベンダー環境下での業務自動化とバック

アップ運用、「JP1/NETM/DM」「JP1/NETM/AIM^{※2}」「JP1/秘文」などを適用したIT資産管理と情報漏えい防止のトータルセキュリティ、「JP1/PFM^{※3}」を利用した一元的な稼働監視や性能監視といった、数多くのソリューションを提供してきたとのこと。その実績と経験に、メトロシステムズならではの多様なソリューション力を組み合わせ、「さらに付加価値の高い提案を行っているのがJP1ソリューション部の役割となります」と永井氏は力を込めます。

「そのためには技術者自身のスキルアップと、チーム全体の技術力の底上げが欠かせません。そこで当社では、人材育成をスピーディかつ効率的に行うための仕組みとして、『日立オープンミドルウェア認定資格制度』を活用しています」と語るのは、JP1ソリューション部 課長の西澤 茂浩氏。同制度は日立のJP1、Cosminexus、HiRDBの3製品を対象に、セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発、コンサルティングまで、目的やレベルごとに資格を設け、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定する技術者育成プログラムです。西澤氏自身も、JP1、Cosminexus、HiRDBのそれぞれで複数の認定資格を取得しており、「お客さまのさまざまなご要望に応じたシステム提案を行える知識と技術が体系的に身に付き、たいへん役立っています」と笑顔を見せます。

※1 JP1/Automatic Job Management System 2
※2 JP1/NETM/Asset Information Manager
※3 JP1/Performance Management



株式会社 メトロシステムズ

本店 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37階

設立 1995年3月10日

資本金 1億円

従業員数 150名(2010年4月1日現在)

事業内容 Oracleデータベースのコンサルティング・設計・構築・運用管理、Oracle製品サポートアウトソーシングサービス、JP1を利用した業務設計・構築・運用支援サービスほか

短期間で効率的にJP1の知識やノウハウを習得

アプリケーションソリューション事業部では、新人を含めた全スタッフに「JP1認定エンジニア」の資格取得を義務づけています。また、各製品カテゴリ別に認定される「JP1認定プロフェッショナル」「JP1認定コンサルタント」の資格も、JP1ソリューション部のメンバー10名全員が取得済みとのこと。とはいえ、まだ取得していないカテゴリ別資格へのチャレンジや、バージョンアップにともなう新機能への対応などを図るため、JP1認定資格制度の活用頻度は「従来以上に増えている」と永井氏は語ります。

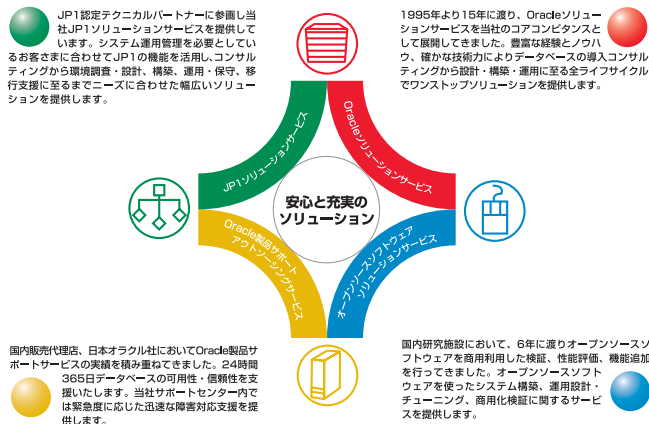
「参考書やマニュアルで自習するより、1日あるいは2日間ほどの集中講座に参加した方が、短期間で効率よくJP1の知識やノウハウを習得することができます。実機を使ったマシン実習も効果的ですし、JP1の開発やサポートに携わっている方々も講師として登場するため、質問への回答も的確で、実際の現場でも大いに参考になります。認定資格者用の専用サイトからダウンロードできるテンプレートや技術情報も実用的で、日々の業務に活用できるのがうれしいですね」と永井氏は続けます。

工藤氏も「当社ではJP1ソリューション部員のみならず、全社員に受講の機会を与えています。希望者全員に講座を受けさせ、みずから技術者として“スキルレベル”“市場価値”を対外的にもアピールできる認定資格の取得を積極的に勧めているためです。最近では若手を中心にJP1の受講希望者が着実に増えてきました。それだけJP1が多様な企業システムに浸透している証しでもありますし、社員自身、より仕事の幅を広げたい、もっとお客さまが満足できるサービスを提供したいという意気込みを強く持っている証拠でしょう」と喜びます。

CosminexusやHiRDBの知識もトータルに学ぶ動きへ

JP1認定資格制度と並んで、メトロシステムズがJava系オープンシステム技術の幅広い知識をバランスよく習得できる手段として活用しているのが「Cosminexus認定資格制度」です。同講座では、Cosminexusならではの高性能・高信頼なAPサーバ構築技術の習得に加え、Webアプリケーション開発全般の知識を体系的に学ぶことができるのが特長。マニュアルだけでは習得できない実践的なトラブルシューティングなどのノウハウも豊富に提供されるため、「受講者からの評価は非常に高いものがあります」と西澤氏。アプリケーションソリューション事業部では現在、「Cosminexus認定セールスコーディネーター」を19名、プラットフォームとアプリケーションそれぞれの「Cosminexus認定エンジ

Open middleware case study



お客さまのビジネスを支えるメトロシステムズのソリューションサービス

ニア」も10名が取得していますが、今後はCosminexusとの親和性が高いスケラブルデータベースHiRDBの知識も合わせて習得させるため、日立オープンミドルウェア認定資格制度全般をキャリアパスに活用していく計画も進めています。

「ITコストの削減や生産性の向上、運用管理の負荷軽減など、さまざまな悩みを持つお客さまに対しては、JP1単体だけでなく、Webサーバやデータベース連携なども含めたトータルソリューションサービスとしてのアプローチが有効です。そうした広範な知識の習得と技術者のスキルアップを支える強力な仕組みとして日立オープンミドルウェア認定資格制度を積極的に活用していきたいと考えています」と永井氏は語ります。

日立オープンミドルウェア認定資格制度が必要不可欠な存在に

今後のメトロシステムズを支えていく若手エンジニアの技術力と、ソリューション品質の継続的な強化を図るため、同社では中堅エンジニアが講師を務める小グループ制の勉強会を頻繁に開催。エンジニア一人ひとりのスキルアップとモチベーションを維持する多彩な取り組みを展開しています。

「お客さま満足度の向上を図るには、各人が持つ専門性と創造性に一層の磨きをかけ、他社に負けない高付加価値なソリューションをスピーディ、低コストに提供することが必要です。そのための技術力と実践的なノウハウの習得に日立オープンミドルウェア認定資格制度は必要不可欠な存在になっています」と工藤氏は続けます。

メトロシステムズでは、付加価値の高いシステムを提案・構築できる人材育成を支える仕組みとして、日立オープンミドルウェア認定資格制度をこれからも積極的に活用していきます。

お問い合わせ先

HMCC(日立オープンミドルウェア問い合わせセンター)

☎0120-55-0504

利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

情報提供サイト

<http://www.hitachi.co.jp/soft/cert/>